

業界最多！楽天証券 NISA、口座数 700 万口座&残高 10 兆円突破のお知らせ

- 楽天証券公式 X でフォロー&引用リポストキャンペーンを実施！ -

楽天証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：楠 雄治、以下「楽天証券」）は、2026年1月に、NISAの口座数が業界最多※1の700万口座を、2025年12月末に、新NISAの預り資産残高※2が10兆円を突破したことをお知らせします。また、NISA口座数700万突破を記念して、楽天証券公式Xアカウントをフォローし、「#楽天証券 NISA」を付けて対象の投稿を引用リポストすると、抽選で23,000円分のデジタルギフト券がもらえるキャンペーンを、本日、2026年1月6日（火）より実施することをあわせてお知らせします。



楽天証券は、1999年に日本で初めてオンライン専業の証券会社としてサービスを開始して以来、「すべての人々のために」をモットーに、社員一同、サービスの拡充に努めております。

2024年に大幅に拡充されたNISA制度を活用した資産づくりに注目が集まる中、国内証券単体（開示ベース）で最多の口座数※3を有する楽天証券は、NISAの活用を含めた資産づくりをつづけやすいサービス・商品の拡充にも取り組んでいます。その結果、楽天証券のNISAは、幅広い世代のお客様から、「使いやすさ」などで高い評価を得ており、稼働率は76.3%※4と、大変多くのお客様に活用されています。また、「2025年オリコン顧客満足度®調査 NISA証券会社」ランキングにおいて、2年連続総合1位を受賞するなど、外部評価機関にも高い評価をいただいています。

特に、2024年12月に600万口座を突破して以降、楽天証券は、業界で初めて^{※5}、100円から1円単位で金額を指定して国内株式を取引できる「かぶピタッ[®]」や、投資信託の積立設定状況を診断する「かんたん積立診断」などのロボアドバイザーサービス、NISAの資産推移・管理が視覚的にわかりやすいウェブサイトやスマートフォン向け資産づくりアプリ「iGrow[®]」の提供など、NISAで利用できる商品・サービスを拡充し、これまで以上に、資産づくりを“はじめる”だけでなく、“つづける”までを一貫でできる環境を整えました。さらに、運用を続けながら毎月自動で投資信託を売却し、代金を得られる「定期売却サービス」もNISAで利用可能です。

これまでの楽天証券の取組みなどの結果、多くの方に楽天証券をお選びいただき、このたび、NISA口座数が業界最多^{※1}となる700万口座超に、残高^{※2}は10兆円にまで拡大しました。さらに、多くの方に楽天証券のNISAを活用いただききっかけとして、楽天証券は本日、2026年1月6日(火)より、NISA口座数700万突破記念キャンペーンを開始します。楽天証券公式Xアカウントをフォローし、「#楽天証券 NISA」を付けて対象の投稿を引用リポストすると、抽選で23,000円分のデジタルギフト券をもらえます。詳細は楽天証券公式Xアカウントをご覧ください。<https://r10.to/hgbgpH>

このたびのNISA口座数700万口座・預り資産残高^{※2}10兆円突破は、将来の資産づくりに楽天証券を選んでいただいた多くのお客様からのご支援の賜物と考えております。楽天証券は今後も、「資産づくりの伴走者」として、お客様のFinancial Well-Beingを最大化するべく、これから資産形成を始める投資初心者の方に「はじめる」きっかけだけでなく、永く資産形成を「つづける」環境の提供を通じて、幅広いお客様のニーズにお応えし、お客様に「永く付き合いたい証券会社」として選んでいただけるよう努めてまいります。

■ 「楽天証券 NISA 700万口座突破記念キャンペーン」 概要

キャンペーン内容	本キャンペーンの条件を満たした方の中から抽選で10名様に、23,000円分のデジタルギフト券（「giftee Box Select」）を進呈
キャンペーン期間	2026年1月6日(火)～同年1月19日(月)
対象者	キャンペーン期間内に、楽天証券公式Xアカウント(@RakutenSec)をフォローし、「#楽天証券 NISA」を付けて、対象の投稿を引用リポストした方
特典内容	23,000円分のデジタルギフト券（「giftee Box Select」）
特典進呈時期	2026年1月末(予定)
URL	https://r10.to/hgbgpH

(注) キャンペーンの内容は、事前の予告なく変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

そのほか、キャンペーンの条件やご注意事項などの詳細は、楽天証券公式Xの対象スレッドをご覧ください。

※1: 金融庁「NISA口座の利用状況調査(令和7年6月末時点)」および各社ウェブサイト上での開示情

報により、楽天証券にて集計

※2 : 2024年1月から開始された新NISAの残高のみ、2023年12月以前の残高は含まず

※3 : 各社ウェブサイト上での開示情報により、楽天証券にて集計。SBI証券は単独口座数非開示のため
2021年3月末時点の口座数、野村證券および大和証券は残あり顧客口座数、SMBC日興証券は総
合口座数

※4 : 2025年1~6月に取引をおこなった、もしくは、2025年6月末時点で残高がある口座の割合

※5 : 主要ネット証券（口座数上位5位：SBI証券、松井証券、マネックス証券、三菱UFJ eスマート証
券、楽天証券（五十音順））で比較（2026年1月6日現在、楽天証券調べ）

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社 [（楽天証券ウェブサイト）](#)

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

確定拠出年金運営管理機関登録票：確定拠出年金運営管理業 登録番号774

貸金業登録番号：東京都知事（1）32007号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

日本貸金業協会会員 第006365号